

# 南第三 Heart 通信

## Vol. 84

地区委員会だより

令和4年3月発行

町田市青少年健全育成  
南第三地区委員会

会長 東 祐子

寄稿

令和3年度着任の南三小校長先生、南中副校長先生のご挨拶です

## 南第三地区委員会の大きな役割

くどう みのる  
町田市立南第三小学校 校長 工藤 成



日頃より青少年の健全育成について並々ならぬご尽力をいただいておりますことに、子供たちを育成する学校を代表して感謝申し上げます。

さて、「胎児はどうやって形作られていくのか」について、こんな話があります。ある細胞が「脳になりたい」と声を上げる。すると隣の細胞が「だったら僕は心臓の細胞になる」と。さらに隣は「骨の細胞に」。こうした話し合いで互いの役割が決められていくと言います。仮に、話し合っている最中の細胞の固まりをバラバラにすると、コミュニケーションが取れなくなった細胞たちは自らの役割を見失い、ほとんどが死に絶えてしまうのだそうです。これは何も細胞レベルに止まりません。一個の人間にとっても同様なことが言えるのではないのでしょうか。それは、コロナ禍で孤立化が進む中、青少年にかかるストレスは東日本大震災時に匹敵すると指摘する心理学者がいることから推し量ることができます。

ところで、青少年一人一人にはそれぞれより良い未来を創っていく大きな役割があります。互いに社会の一員として責任ある立場で自己実現を図っていくことで、さらに可能性を伸ばしていきます。しかし、あらゆるものの可能性は他者との関係性の中でこそ、現実の力へと発揮されていくものです。

人間関係の希薄さが指摘される昨今、コロナ禍が拍車をかけている状況です。だからこそ、改めて人と人とが信頼と絆によってしっかりと結ばれた心豊かな社会づくりを進めていくことが求められています。その中心的役割を果たすのが、南第三地区委員会の組織と活動であると思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 変革期をむかえる南中学校

すぎうら げんいち  
町田市立南中学校 副校長 杉浦 元一



2021年4月に南中学校に着任して以来、1年が経とうとしています。学校では新型コロナウイルス感染症の対策が続いており、学校行事の中止や日程変更を迫られたり、部活動の停止等を余儀なくされたりと、十分に満足がいく教育活動ができませんでした。

それでも、制限がある中で何ができるかを教職員と生徒と一緒に考え、できることを精一杯取り組んできました。

南中学校は、いま変革期にあると思います。厳しい生活指導を基にして校内の規律を重んじるこれまでの体制から、生徒が自ら主体的に考えて積極的に行動していく新しい体制に移りつつあります。南中学校の歴史の中で育まれたよき伝統を守りつつ、新しい時代を豊かに生きる生徒の育成に努めていきたいと考えています。

さしあたって、生徒からの声を反映させて、次年度より標準服の改定を行う予定です。男女の区別による指定をなくすことや、夏季に紺色のポロシャツの着用を認めることが主な改定内容です。今後も生徒会を中心に学校のさまざまな課題について議論し、学校生活をよりよいものにしていく活動の機会を生徒たちに提供していくことを重視していきます。

南第三地区委員会の皆様には、日頃から生徒をあたたく見守っていただき、大変感謝しております。今後は、校舎改築により近隣小学校と南中学校が同居していく計画が進んでいくことにより、地域との連携が一層必要になる場面が増えることとなります。ますますのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

# 活動報告

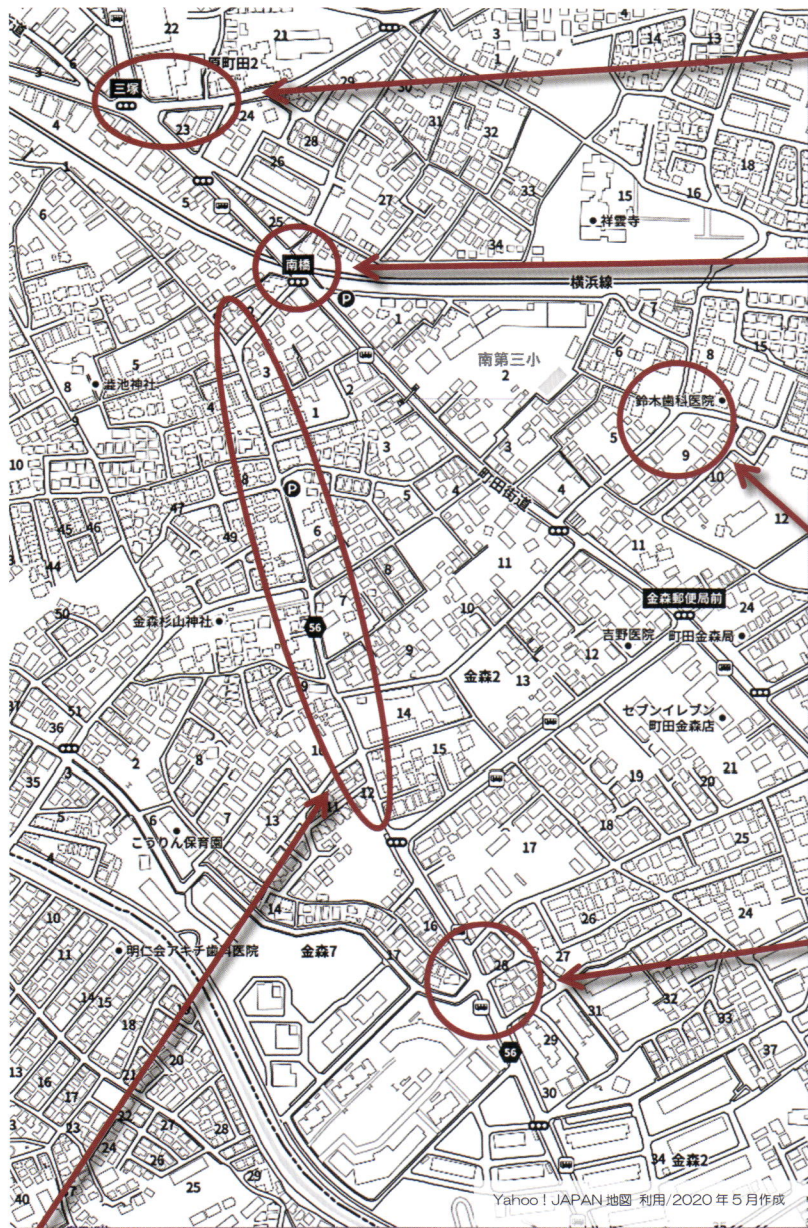
# 登校時見守り



新型コロナウイルス感染防止への対応が難しく、地区委員会の行事は今年度もほとんど中止せざるを得ませんでした。中でも、昨年は有志で実施した「登校時見守り」を、例年のように委員全員で実施することにしました。全員にお渡しできるだけの旗を準備し、毎月1回予定日を決めて当番表を作成し、ご自宅に近い立哨ポイントでの見守りをしていただきました。朝の忙しい時間帯のご協力、ありがとうございました。



## 主なポイントの状況～見守り報告から～



### 三塚交差点付近

信号無視の自転車が多い。歩道も狭いので要注意！

### 南橋交差点付近

歩道が狭く、駅方向へ向かう自転車が急いでいて危険。  
杉山神社に抜ける道に進入する車からは、横断する子どもたちの姿が見えづらいかもしれない。

### 鈴木歯科医院前

踏切からくる車と、町田街道からくる車がひっきりなしに通過。中型トラックも多い。踏切に行く車が、ウinkerを出さず、スピードも緩めないため、かなり危険。  
高校生の自転車も一時停止せず危ないが、現在は時差登校によって、子どもたちの通学時間と重ならなくなっている。

### 第6都営7号棟前横断歩道

交通量が多く、車のスピードも出ている。保育園への送りで急ぐ自転車も多い。こりん保育園側から来る車が、停止線を越えて止まり、確認している。冬場は日の出が遅く、確認時にまぶしいようだ。

## すいたんたん前から南橋にかけて

道が狭く、緩いカーブが続き、横断する子どもたちから車の状況が見えにくいポイントが多い。車の往来は多く、すいたんたん前や南橋の信号が青になると、どっと車が流れてくる。横断者に配慮する車がほとんどで、立哨への協力も以前よりよくなった。とはいえ、携帯をいじりながら運転をしたり、スピードを出したりする車もいる。

